



営農NEWS



春レタスのべと病や斑点細菌病、春ハクサイのべと病や白斑病等の発生に十分注意しましょう

現在、本年の春レタス栽培では、べと病や斑点細菌病が、春ハクサイ栽培では、べと病や白斑病が、平年に比べて発生の目立つ状況になっています。

県病虫害防除所の病虫害発生予報 4 月号によりますと、3 月中旬現在、春レタスべと病の発病株率は 14.0% (平年 0.1%)、発生地点率 33% (平年 4%) と高くなっています。また、春ハクサイべと病の発病度は 6.3 (平年 1.4)、発生地点率 100% (平年 35%) とやや高い状況です。さらに、春レタス斑点細菌病が平年よりやや多く、春ハクサイ白斑病が平年より多い発生となっています。

病害が発生しますと商品価値を失ってしまいますので、換気など管理作業の時などには十分注意して病害の早期発見に努め、発病株があれば早期に圃場外に持ち出して適切に処分してください。

被覆内の適正な温湿度の管理は、苗の活着後から最高気温 25℃ くらいを目標にし、結球肥大から収穫期にかけて次第に換気を強めていくことで、しまりの良い高品質なレタス生産が期待できます。

なお、病害が発生している場合は、抜き取り後に、発病株を中心に有効薬剤のスポット (部分) 散布を行うなど、被害の拡大を抑えることが重要です。また、薬剤防除を行う際は、晴天日を選んで、株全体に丁寧に散布し、薬液が夕方までには乾くような時間帯に済ませてください。薬剤によっては、収穫間際の散布および連用により薬害や汚れの生じる場合がありますので、注意事項をよく参照してください。また、薬剤の選定にあたっては、特に収穫前日数に十分注意してください。

表 1 レタス、非結球レタスべと病の主な防除薬剤 (平成 27 年 3 月 27 日現在)

薬 剤 名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数
ランマンフロアブル	2,000 倍	収穫 3 日前まで / 3 回以内
レーバスフロアブル	2,000 倍	収穫 7 日前まで / 3 回以内
シグナムWDG	1,500~2,000 倍	収穫 14 日前まで / 1 回
Zボルドー	500 倍	— / —

注) ※印の薬剤は、薬害防止のため炭酸カルシウム剤を加用してください。

表 2 レタス斑点細菌病の主な防除薬剤 (平成 27 年 3 月 27 日現在)

薬 剤 名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数
カセット水和剤	1,000 倍	収穫 7 日前まで / 2 回以内
カスミンボルドー	1,000 倍	収穫 7 日前まで / 4 回以内
キノンドーフロアブル	800~1,000 倍	収穫 21 日前まで / 5 回以内

表 3 非結球レタス斑点細菌病の主な防除薬剤 (平成 27 年 3 月 27 日現在)

薬 剤 名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数
カスミンボルドー	1,000 倍	収穫 21 日前まで / 4 回以内
キノンドーフロアブル	800~1,000 倍	収穫 30 日前まで / 5 回以内
Zボルドー	500 倍	— / —

表 4 ハクサイべと病、白斑病の主な防除薬剤 (平成 27 年 3 月 27 日現在)

薬 剤 名	べと病	白斑病	希釈倍率	使用時期 / 使用回数
ストロビーフロアブル	○	○	3,000 倍	収穫 3 日前まで / 3 回以内
ランマンフロアブル	○		2,000 倍	収穫 3 日前まで / 4 回以内
ダコニール 1000	○	○	1,000 倍	収穫 7 日前まで / 2 回以内
プロポーズ顆粒水和剤	○	○	1,000 倍	収穫 7 日前まで / 2 回以内
オーソサイド水和剤 80	○		600 倍	収穫 7 日前まで / 5 回以内
		○	600~1,200 倍	
シグナムWDG	○	○	1,500~2,000 倍	収穫 7 日前まで / 3 回以内
ホライズンドライフロアブル	○		2,500~5,000 倍	収穫 14 日前まで / 3 回以内
ロブラール水和剤		○	1,000~1,500 倍	収穫 14 日前まで / 3 回以内

農業使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。



生産資材部 営農企画課

電話 : 029-291-1012 FAX : 029-291-1040